

埼玉・八潮に木造大型パネルを用いて3階建アパート 省施工を活かし大型物件の需要開拓を推進

三菱商事建材は、埼玉県八潮市で、地元の建設事業者から建設工事を請負い、木造大型パネルを用いて木造3階建アパート（15戸）の建設を開始した。建て方の開始から2日目の昼には、3階部分までの大型パネルの施工を終えた。優れた施工性を活かし、住宅に加え、大型物件の建設請負業務を拡大していきたい考えだ。

三菱商事建材（浴宏代表取締役社長、東京都渋谷区）は、「木造大型パネル受託加工サービス」を展開している。木造大型パネルとは、住宅用資材として一般流通している構造材や金物、面材、間柱、断熱材、サッシ、防水シートなどを一体化したもの。従来からあるパネルとは異なり、柱や梁といった構造材までもひとつのパネルに組み込んだ。大手プレハブメーカーの木質パネルを製造するテクノエフアンドシーと提携することで、品質の高い木造大型パネルを安定的に製造できる体制も整えている。テクノエフアンドシーの5工場（北海道、群馬県、愛知県、岡山県、福岡県）で木造大型パネルを製造する。同サービスでは、木造大型パネルを受託加工という形で提供し、工務店などからの依頼に対して柔軟に対応する。工場で木造大型パネルを製造し、専用トラックで現場に搬入する。各大型パネルには施工順を表記しており、現場では、クレーン車で木造大型パネルを吊り上げ順番通りに設置していく。

建て方開始から1日半で 3階部分までパネル施工完了

今回、埼玉県八潮市の建設事業者である益田建設からの依頼を受け、八潮市で木造大型パネルを活用して3階建アパートの建設に着手した。10月5日に建て方の作業を開始し、5日の午前中に1階外周部のパネル施工を終了。昼食をはさみ、13時10分から2階外周部のパネル施工を開始したが、2階部のパネル施工を終えるまでに1時間もかからなかった。建て方1日目は、2階の天井面までの施工を終え、建て方2日目の昼までには3階までのすべてのパネル施工を完了した。



2階部分のパネル施工を終えるまでに1時間もかからなかった



建て方の開始から1日半で3階までのパネル施工を完了。2日目の午後には雨仕舞い工事までを終えた

職人不足問題が深刻化するなかで、木造大型パネルの優れた施工性などが評価され、建設工事請負業務は順調に拡大している。現在岩手県で122棟の復興公営住宅の建設を進めている。ここにきて大手賃貸住宅事業などから、木造大型パネルを用いたアパート建設の施工請負の相談も増えているという。「同じ形状の空間が連続して続くアパートなどは、より木造大型パネルとの相性がよく、さらなる施工スピードの向上が期待できる」（同社）として、戸建住宅に加えて、アパートなどの大型物件にまで裾野を広げ、建設請負業務を拡大し、住宅事業者や建設事業者をサポートしていきたい考えだ。